

交差する環境

—変容するインド社会における人と自然—

1990年代以降、急速な経済成長を遂げつつある大国インド。グローバル経済への参入、大規模な開発が進行するなか、生態環境は大きく変化しており、環境や自然の保護が叫ばれています。しかし人々の生活のなかに分け入ってみると、必ずしも「自然」や「環境」は自明なものではなく、時代や場所によって異なる文脈で、異なる「自然」「環境」概念が生じ、人々の生活が左右されている状況が浮かび上がってきます。インド社会における人と自然とのつきあい方を人類学、地域研究の観点から明らかにしながら、変化する自然環境のなかで私たちが生きていく意味を探ります。

Program

*受付開始 13:00 *開会の挨拶 13:30~13:40

講演1 13:45~14:25

「禁じられた遊び」 —インド野生生物保護法とヘビ使いの現在—
岩谷 彩子 (京都大学大学院地球環境学堂・准教授)

講演2 14:25~15:05

「環境運動はいかに生まれ何を变えたか」
—チプコー(森林保護)運動を事例として—
石坂 晋哉 (愛媛大学法文学部・准教授)

講演3 15:15~15:55

「複数の『自然』のはざままで」
—南インドにおける大規模開発と神霊祭祀を通して自然・環境の非自明性を考える—
石井 美保 (京都大学人文科学研究所・准教授)

総合討論 15:55~16:40 コーディネーター 森 晶寿 (京都大学大学院地球環境学堂・准教授)

*閉会の挨拶 16:40~16:45

2016年 **5月21日(土)** 13:30~16:45

京都大学 北部総合教育研究棟1階 益川ホール
参加無料、先着170名まで(残席がある場合は当日参加受付可能)

【お問い合わせ先】

京都大学地球環境フォーラム事務局:地球環境学堂

Tel: 075-753-5630 Fax: 075-753-9187

<http://www2.ges.kyoto-u.ac.jp/activities/seminar/global-environmental-forum/>

参加を希望される方は、事前にwebもしくはファックスでお名前、ご所属(差支えなければ)を添えてお申し込みください。
※講演者、講演内容などは事前の予告なく変更することがございます。

